資料5

## ■策定作業のイメージ

地域計画策定ガイドラインに
基づく策定作業ステップ

**Plan**

Step１
地域を強靭化する上での
目標の明確化

Step２
リスクシナリオ(最悪の事態)、
強靭化施策分野　の設定

Step３
脆弱性の分析・評価、
課題の検討

Step４
リスクへの対応方策の検討

Step５
対応方策について重点化、
優先順位付け

**Do**　計画的に実施

**Check**　結果の評価

**Action**　見直し・改善

PDCAサイクル

[Step1]　**目標の明確化**

・原則として、国基本計画における「基本目標」及び「事前に備えるべき目標」に即して設定
・地域の実情、自然・社会状況や災害の切迫性等に応じて必要な目標を設定

[Step2]　**起こってはならない事態、施策分野**

**①想定する自然災害を特定**

⇒　直下型地震、津波、洪水

**②リスクシナリオの設定**

国基本計画の 45 の事態を参考に、Step1 の設定及び地域特性等を踏まえて設定
（モデル調査応募時に 19 を仮設定）

**③施策分野の設定**

国基本計画の施策分野を参考に、②を回避するために必要な施策を念頭におきつつ、地域の状況に応じて設定

[Step3]　**脆弱性の分析・評価、課題の検討**

・Step1、2 に基づき、国の脆弱性分析・評価方法を参考に実施

[Step4]　**リスクへの対応方策の検討**

・Step3 の結果に基づき、今後必要となる施策を検討し、推進方針として整理

[Step5]　**対応方策の重点化、優先順位付け**

・地域が直面するリスクを踏まえて、影響度・緊急度等を考慮して重点化・優先順位付け

＋

[独自 Step]　**救援・代替機能にかかる検討**

○上記 Step1～5 と並行して、首都圏有事等に対する本市の機能発揮に向けた施策の推進方針を検討・整理
（「平時と有事の連続性」の観点から、拠点性強化、産業集積、交流増進などを力強くアピール）